

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた川越市基本方針

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、本市にある霞ヶ関カンツリー倶楽部においてオリンピックのゴルフ競技が開催される予定となっています。

本市では、官民一体となって、競技開催都市としての責務を果たすとともに、川越の未来の発展につながる「レガシー（遺産）」の創出を通じて『大会の開催を契機として、観光、国際交流、スポーツ、文化芸術、教育等の振興によって地域の活性化を図ることにより、市民一人ひとりが誇りや愛着を持ち、将来を担う子どもたちが夢や希望を抱くことができる都市』の実現を目指します。

2つのテーマ

I 大会の円滑な運営

ゴルフ競技に係る大会の円滑な運営が図られるよう、関係機関等と連携し、競技開催都市としての責務を果たします。

II 大会を契機とした市の活性化

『市民が誇りや愛着を持ち、子どもたちが夢や希望を抱くことができる都市』を実現するため、大会がもたらす効果を様々な分野に波及させることで、本市の更なる活性化を図ります。

8つの取り組み

◆セキュリティ対策

選手、大会関係者及び観客などの安全を確保するため、関係機関等と連携し、災害等への危機管理対策など、安全・安心な大会の運営が図れるよう、セキュリティ対策を推進します。

◆医療サービス

選手、大会関係者及び観客などが安心して大会に参加できるよう、関係機関等と連携し、急病人の発生等に備え、救護や救急搬送などの万全な医療サービス体制の構築を図ります。

◆会場への輸送

選手、大会関係者及び観客などの安全かつ確実な会場等の移動のため、関係機関等と連携し、市民生活や都市活動への影響を最小限に抑えた、円滑な輸送体制の構築を図ります。

◆ボランティア活動の推進

関係機関等と連携し、大会の円滑な運営を支えるボランティアの体制を整備するとともに、大会後も市民のボランティア活動の促進を図ります。

◆魅力の発信

ゴルフ競技の開催会場市として世界に発信される好機を捉え、観光や産業など本市が持つ地域資源の魅力を積極的に国内外に発信し、更なる本市経済の活性化を図ります。

◆大会機運の醸成

大会に向けて、スポーツをはじめ、文化芸術、教育などの様々な分野での事業の実施や新たな取り組みにより、より多くの市民の参加を得て大会への関心を高めるとともに、大会後もそれぞれの分野の事業の振興を図ります。

◆川越ならではのおもてなし

訪れた全ての人の心に残り、本市の新たな魅力となるような本市の特色を生かしたおもてなしに官民一体となって取り組みます。

◆国際交流の推進

大会を機に本市を訪れる外国人と市民との交流や、将来を担う子どもたちが世界の多様な文化に触れる機会の創出などに取り組み、多文化共生社会への理解が進むように国際交流の推進を図ります。また、キャンプ誘致に取り組み、誘致国とのスポーツや文化事業を通じた交流を図ります。

※レガシー オリンピック・パラリンピックというスポーツイベントが開催都市にもたらす効果を一過性のものとせず、中長期的・継続的な「(良い)遺産」として位置づけるもの。

※関係機関等 国、大会組織委員会、地方自治体、民間企業、NPO、教育機関など。